

平和を守れ

'83.1.18

第302号

日本民主青年同盟

この自民党・財界の脇道路線が島物語・不景気の打開を求める國民との矛盾をますます深めます。

京都大学の學生の皆さん、新年おめでとうございます。

いよいよ一九八三年が幕を開けました。今年は一連の選舉が開催される年であり、日本の道路が向むける年です。また、今年は民青同盟創立60周年という記念すべき年です。二つ決意を新たにしています。

不景気に拍車をかける中曾根「アッショ行革」

ところで、皆さんも年末年始郷里に帰り、親や親

戚の話を聞いてお気づきのように、現在日本全国どこへ行っても不景気の風が吹き荒れています。

正月三が日の初詣が最高の人出で、また、新年に比べて少ないというのも不景気の反映でしょう。

この不景気が、みずから利益を確保するため、「日本経済上出来」論をふりまいた自民党・財界の政治経済運営にあることは、今となっては明白です。

資本金10億円以上の大企業がその内部留保を空前の40兆円もため二もうとしている一方で、その収益を支えるために、人べらし減量経営、賃金抑制、下請企業への支配を強め、その結果、完全失業者数が史上最高の13%、中小法人、人件費の対売上げ高比率が史上最低の6.45%、中止を深刻にしました。また、大企業が競争力を強め、輸出依存を深めた結果は、世界不況の中で貿易摩擦を激しくしました。このやり方が国民の購買力を低下させ、消費不況

新奇に訴えます

民にギバも中曾根極
反動の闇に痛打を与えて、

83年を真に政治転換
の年に！

格的にニセコ行革と断行しようとします。

しかし、その8年度予算案自体、現在の不況、財政危機を転換させるどころか、軍拡・大企業向けの予算を

83年度予算案に見られる軍事費の異常増加、大蔵省歳入の5%増が首相の裁断で一挙に6.5%増に

あります。それは、下アメリカのレーガン政権から吹く風

はね上がりで二点に對して、一二で米国の理解を得られる」と述べています。

中曾根首相は今月行われる裏例の早期訪米での守

みやげの一つに二の要出等身をあげています。しかし、これだけではありません。GND世界半位とい

いの国力にふさわしい国際的役割分担といふ論理で、限定核戦争構想への加担・協力を推し進め、シ

ー・レーン防衛の共同研究、対米軍事技術供与など、日米軍事同盟をすべてに優先させ、積極的に両側の立場をめざしているのが中曾根内閣です。

この軍事大国化路線が反核・平和を願う広範な国民、世

界各国の人民、とりわけアフリカ諸国との矛盾を深めざるさ

れず、更に景気が落ちこむことは必至です。それだけではありません。脇道の看板だった「増税なき財政再建」

も中曾根内閣だけ大型間接税の導入でなしくすしてしまおもにあらゆる軍事プログラムの廢止、核兵器全面禁止の先頭

め、77年度以降国債依存度30%を超える世界に例を見ないまま財政をやらせ、財政危機を引き起こしました。そこで、その財政危機を背景に登場したのが、一昨年來私たちが、財界主導、軍拡先、国民大収奪の二セ行革と批判して来た土光臨調でした。そして、今、その土光会長をして「58年度予算編成に政府の折りた努力に敬意を払いたい」と絶賛させた中曾根内閣が、よい日本

の本性です。

これは、自民党・中曾根内閣が首相自ら「アッショ行革」のつけ名で、その財政危機を背景に登場したのが、一昨年來私たちが、財界主導、軍拡先、国民大収奪の二セ行革と批判して来た土光臨調でした。そして、今、その土光会長をして「58年度予算編成に政府の折りた努力に敬意を払いたい」と絶賛させた中曾根内閣が、よい日本

國民を顧むる外交路線

風見鶏 中曾根首相が見ていく風は、財界の風だけではありません。それは、下アメリカのレーガン政権から吹く風に對してもあざれるほどよく迎合しています。

83年度予算案に見られる軍事費の異常増加、大蔵省歳入の5%増が首相の裁断で一挙に6.5%増にはね上がりで二点に對して、一二で米国の理解を得られる」と述べています。

中曾根首相は今月行われる裏例の早期訪米での守

みやげの一つに二の要出等身をあげています。しかし、これだけではありません。GND世界半位とい

いの国力にふさわしい国際的役割分担といふ論理で、限定核戦争構想への加担・協力を推し進め、シ

ー・レーン防衛の共同研究、対米軍事技術供与など、日米軍